

# 1. 土地及び気象

- 1 位置及び面積
- 2 地形
- 3 地質
- 4 市地域の推移
- 5 地区別面積
- 6 地目別私有地面積
- 7 気象状況

# 1. 位置及び面積

令和2年1月1日現在

市役所の位置	所在地	名張市鴻之台 1番町1番地
	北緯	34° 37' 27"
	東経	136° 06' 40"
広ぼう ( m )	東西	10,550
	南北	13,100
海抜 (m)		225.93
面積 (km <sup>2</sup> )		129.77

※面積は国土地理院 [令和2年全国都道府県市区町村別面積調]による。

資料:総務室

## 2. 地形

名張は古琵琶湖の南端部分が及んでいたところと推定され、湖岸の後退によって伊賀盆地となり、名張川周辺に平坦な陸地を作り出したものとされています。

東部から北部にかけては標高300～400mの丘陵地で伊賀市に、西部は名張川沿いに断層崖が存在し奈良県と、南部は山岳地帯で紀伊山地に属し、奈良県と接しています。

伊賀盆地は南東から北東に向けて傾斜しているため、青蓮寺川・宇陀川と合流した名張川は、北方向に向かい、木津川・淀川を経て、大阪湾へ注いでいます。

市域の標高は、市役所（鴻之台1番町）で225.93m、海拔の最低は、薦生地内の名張川河川敷で162m、最高は国見山山頂付近の883mです。

### 3. 地質

日本列島の地質は、日本海側の内帯と太平洋側の外帯に構造線によって分けられ、大断層帯を成しています。

名張市はこの構造線近く、内帯の南端に位置しています。基礎盤岩は領家片麻岩類により形成されており、この上に第3紀鮮新世成層（古琵琶湖層群伊賀累層）が堆積し、堆積層の下部は粘土、上部は砂層でおおわれています。

市域南部は基礎盤岩の上に室生火山群の活動による流紋岩質溶結凝灰石が分布しています。曾爾村境界の山々は、自身の噴火でできたものではなく、約1310万年前、三重・奈良県境にある高見山中腹の爆発により噴出した火山灰が堆積・凝固し、死火山となったのち、風雨や河川の侵食によって現在の山容になったものとされています。

## 4. 市地域の推移

令和2年1月1日現在

年 月 日	事 項	年 月 日	事 項
昭和17年5月5日	名張町・蔵持村・薦原村・箕曲村 合併	昭和29年3月31日	滝川村・箕曲村・国津村合併 市制施行
昭和24年8月1日	箕曲村分村	昭和32年7月1日	古山村の一部(南古山)編入
昭和26年4月1日	錦生村・比奈知村・美濃波多村合併	昭和32年8月1日	上野市の一部(上庄田)編入

資料:総務室

## 5. 地区別面積

令和2年1月1日現在(単位:km<sup>2</sup>)

地区名	面積	地区名	面積	地区名	面積
<b>名張市計</b>	<b>129.77</b>	美旗	11.98	赤目	9.40
名張	2.90	比奈知	15.03	箕曲	12.23
希央台	0.36	富貴ヶ丘	0.83	青蓮寺・百合が丘	14.97
鴻之台	0.50	すずらん台	0.89	国津	25.39
蔵持	2.65	つつじが丘	1.68	桔梗が丘	2.21
川西・梅が丘	3.99	春日丘	0.57	桔梗が丘南	0.24
薦原	11.55	錦生	11.71	桔梗が丘西	0.69

資料:情報政策室

## 6. 地目別民有地面積

各年1月1日現在(単位:千㎡)

項目 年次	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地
平成27年	72,405	12,184	4,572	13,357	1,836	35,889	1,042	3,525
28	72,435	12,141	4,542	13,389	1,945	35,736	1,040	3,642
29	72,424	12,072	4,502	13,390	1,945	35,838	1,039	3,638
30	72,428	11,994	4,478	13,422	1,944	35,846	1,039	3,705
令和元年	<b>72,436</b>	<b>11,985</b>	<b>4,454</b>	<b>13,465</b>	<b>1,945</b>	<b>35,861</b>	<b>1,049</b>	<b>3,677</b>

資料:課税室(固定資産税担当)

## 7. 気象状況

年次	項目	平均気温	最高気温	最低気温	平均湿度	平均風速	降水量
		(°C)	(°C)	(°C)	(%)	(m/s)	(mm)
平成	22年	15.0	36.1	-4.4	75.0	1.6	1,501.5
	23	14.4	35.7	-4.3	…	1.4	1,803.5
	24	14.2	36.6	-7.5	78.6	1.5	1,568.0
	25	14.7	36.8	-3.5	78.2	1.5	1,604.5
	26	14.3	36.6	-4.0	80.3	1.4	1,303.0
	27	14.9	36.4	-3.2	83.4	1.3	1,437.0
	28	15.4	35.4	-4.8	83.1	1.3	1,383.0
	29	14.4	34.7	-4.0	…	1.4	1,591.0
	30	15.1	37.2	-5.7	75.0	1.3	1,634.0
	<b>令和元年</b>		<b>15.1</b>	<b>36.5</b>	<b>-2.8</b>	<b>74.1</b>	<b>1.3</b>
令和元年	1月	3.9	13.2	-2.7	67.8	1.7	24.5
	2月	5.2	15.9	-2.8	70.1	1.4	60.0
	3月	8.0	20.8	-2.0	68.2	1.5	75.0
	4月	12.0	26.1	-0.9	65.8	1.5	87.0
	5月	18.3	33.5	3.7	62.1	1.3	82.0
	6月	21.6	31.4	14.2	76.9	1.3	147.5
	7月	24.6	36.1	18.5	85.1	1.0	257.0
	8月	27.4	36.5	19.2	78.4	1.3	237.5
	9月	24.5	35.0	13.4	77.9	1.2	15.0
	10月	18.2	30.9	9.5	83.3	1.2	396.0
	11月	11.2	23.9	1.5	75.5	1.1	32.0
	12月	6.8	16.5	-0.9	78.1	1.2	70.0

※平成23年及び平成29年の平均湿度については、湿度計故障のためデータを記載していない。

資料：消防本部